

## 春節とは

～高まる中国人の海外旅行需要～

経済調査部 星野 卓也

### 春節って？

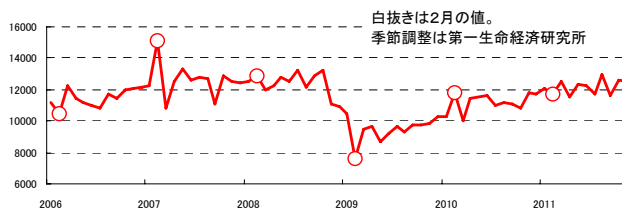
春節とは旧暦の正月を指します。中華圏の人々にとって1年で最も重要な祝祭日のひとつであり、企業は春節前後の1月下旬から2月初旬の約1週間を休暇とすることが慣習化しています。また春節は年によって新暦での日付が異なるため、これが経済統計の攪乱要因となることがあります。例えば中国からの輸入(季節調整)をみると、2月の値は振れが出やすいことがわかります(資料1)。2011年の春節休暇は2月であるのに対し今年(2010年)は1月となるため、数値を比べる際は注意を払う必要があるでしょう。

### 中国からの訪日外客数は10年前の4倍に

近年この春節が、日本経済に重要な意味合いを持つようになりました。それは富裕層の増加から、中国人の海外旅行需要が拡大しているためです。訪日旅行者も増加基調で推移しており、中国からの訪日外客数(2010年)は2000年と比較すると約4倍の141万人となっています(資料2)。更に一人当たり消費額の増加も相俟って、国籍別訪日外国人消費額をみると、中国は最大のウエイトを占めています(資料3)。

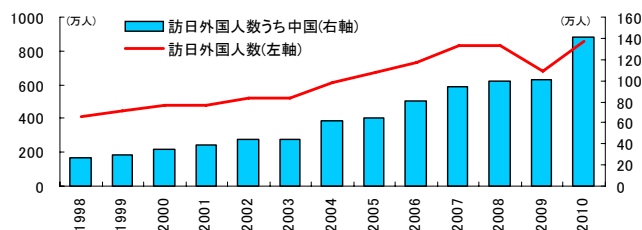
人口減少から内需の低迷が予想される日本にとって、訪日観光客の消費を取り込むことは重要な経済成長戦略となります。近年では観光政策の推進もあり、訪日外客数は増加傾向での推移が続いてきました。ただ、諸外国に比べて日本の観光収入は低位に留まっている(資料4)ほか、震災や円高の影響から2011年の訪日外客数は2010年を大幅に下回ることが確実な情勢です。逆境の中ではありますが、外国人観光客を増やす施策を進め、観光産業を日本経済の成長分野として確立することが重要となるでしょう。

資料1 対中国輸入額(億円、季節調整値)



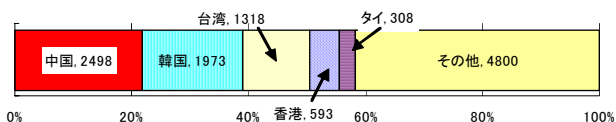
(出所)財務省「貿易統計」

資料2 訪日外客数の推移



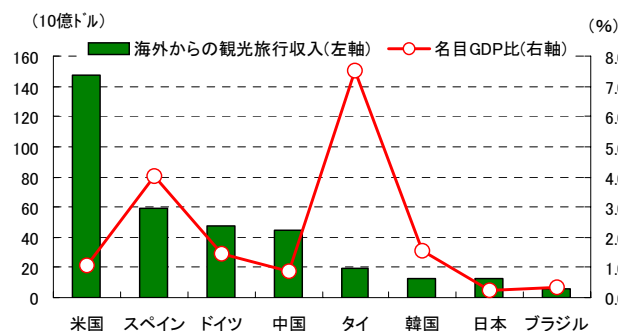
(出所)国土交通省観光庁「観光白書」

資料3 訪日旅行者の国籍別旅行消費額(億円、2010年)



(出所)国土交通省観光庁「観光白書」

資料4 海外からの観光旅行収入と名目GDP比(2009年)



(出所)UNWTO、IMF

(注)中国の2009年の観光旅行収入は未発表のため、2008年のデータを使用している。